は、産業の発展や通勤通学に重要な役割を果たすため県が実施する県道整備と調整をとりながら、主要な道路を継続的に整備します。

昨年の11月にオープンした町立図書館の来館者は、2月末日までで5万5744人になりました。同じく利用登録者は5841人、図書の貸出し冊数は5万8981冊で登録者1人当り10・1冊借りたことになります。みなさんの要望に応えるため今後も継続的に蔵書数を増やしていく予定であり、今年度図書購入費で2000万円予算計上しています。

活気あふれる産業のまち

一元集荷場補助金 土地改良事業補助金

地域産業振興のための事業を行います。

農業排水対策は、農作物の生産性を向上させるため必要で、特に排水環境の悪い地域を対象に県が行う排水対策特別事業、湛水防除事業に対して支払う負担金また各集落から要望のあった土地改良事業に対する補助金等を予算計上しています。

さらに、農協が事業主体となって新規に建設する一元集荷場に対して八日市場市、野栄町と共に補助を行います。

未来を担う人材の育つまち

校舎の部分改修 中学校に外国人講師

学校教育にかかる予算は構成グラフ中、教育費6億3526万円のうち1億7531万円です。このなかには今年度の学校教育すべての予算が計上されています。小中学校生の学習活動と学習意欲の手助けとして学校図書や授業の教材を購入したり、校舎等の部分改修を行います。

また、最近よく耳にする国際化についても教育予算に組み入れられています。どっと押し寄せつつある国際化の波に対応できるような人材育成を推進するため、中学校に外国人講師を招き入れています。4月から中学校に入学されたみなさん英語が上手に話せるようになってください。

笑顔で心のふれあう福祉のまち

高齢者対策 保育所制度の充実

本格的な高齢化社会の到来や核家族化の進行により、福祉に対する関心と需要は年々増え続けています。

町では、平成6年度から老人憩の家を拠点にスタートした高齢者の生きがいと健康づくり推進事業や敬老会事業等、高齢者対策の経費を中心に、常時介護を要する老人や障害者の方が施設に入所するための費用や、子どもをすこやかに育てるための保育所制度の充実を図る保育所運営費補助事業等を予算計上しています。

安心して暮らせる平和とゆとりのある町

水の安定供給 排水整備やゴミ問題

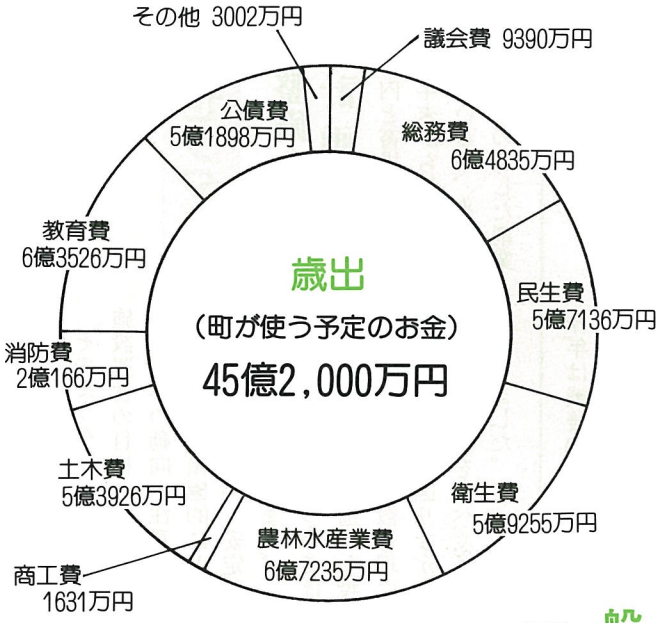
生活環境をとりまく問題は、水道、排水、ゴミ、医療等さまざまです。

良質な水資源の確保と上水道水の安定した供給をするため、水道企業団へ1億6039万円負担します。

生活排水やゴミ問題は、重要な問題なので予算を決めるのに大変時間がかかりました。たしかに生活排水は下水道の整備を、ゴミはゴミ処理場を大きくすれば問題解決するのですが、それにはぼうだいな経費と長い期間を必要とします。それより、すぐにでもとりかかれることとして、予防対策があげられます。合併処理浄化槽を設置することにより地球にやさしい排水ができます。また、リサイクル運動を推進することにより、ゴミの量を減らすことができます。もちろん不法投棄防止対策として、監視員の方々による巡回もしていただきます。このような予防対策を重点的に予算計上しました。

町では、各種の災害に対応できるよう防災用資材や備蓄品の確保を計画的に進め、町ぐるみでの防災訓練を定期的に行い防災知識の普及に努めてきました。

さる1月17日早朝に発生した阪神大震災の被害状況などを教訓として地域防災計画の見直しを行ってきましたが、当初予算に反映することができませんでした。今後十分な検討を行い対処していきます。



一般会計